

ボランティアガイドと一緒に 常設展示を見学しませんか!

ご希望の場合は、事前にお申し込みください。
(博物館 TEL 025-386-1081
おひとりから団体まで対応します)
※目的に合わせて、時間・内容は調整できます。
ご相談ください。



■お願い

- ・敷地内での喫煙、館内での飲食はご遠慮ください。
- ・展示品には触れないでください。
- ・常設展示室内の撮影禁止マークが付いている資料及び「郷土の芸術家」コーナーの撮影はご遠慮ください。

■あゆみ

- 1968(昭和43)年 11月3日、豊栄町博物館として開館
- 1970(昭和45)年 11月1日、市制施行により豊栄市博物館となる
- 1981(昭和56)年 3月28日、常設展示テーマを「福島潟と人々の暮らし」として現在地に移転開館。11月、登録博物館となる
- 1998(平成10)年 7月2日、常設展示テーマを「一書聖一弦巻松蔭の世界」に変更し、リニューアル開館
- 2004(平成16)年 4月13日、分館・横井の丘ふるさと資料館が開館(2022年3月廃止、2023年1月解体完了)
- 2005(平成17)年 3月21日、合併により新潟市豊栄博物館に名称変更
- 2011(平成23)年 3月31日、郷土資料収蔵庫竣工
4月1日、新潟市北区郷土博物館に名称変更
- 2015(平成27)年 5月2日、常設展示テーマを「阿賀北の大地と人々の暮らし」に変更し、暫定開館
- 2016(平成28)年 11月3日、グランドオープン式典開催、市民ボランティアが常設展示ガイド活動を開始
- 2023(令和 5)年 1月4日、常設展示に新コーナー「暮らしを支えた手織り葛塚縞」オープン



■施設概要

- 【本館】・敷地面積 2,683㎡ ・構造 鉄筋コンクリート平屋建て
・延床面積 1,064㎡
展示ホール 154㎡、展示室 347㎡、収蔵庫 230㎡、
特別展示室兼集会室 95㎡、図書室兼研究室 71㎡、
事務室 27㎡、機械室 43㎡、その他 97㎡
- 【郷土資料収蔵庫】
・構造 鉄筋コンクリート平屋(一部中2階)建て
・延床面積 586.18㎡
第1収蔵室 267.45㎡、第2収蔵室 122.55㎡、
資料整理事業室 80.55㎡、その他 115.63㎡

■開館時間

- 9:00~17:00
- 休館日
月曜日(休日の場合は開館)
休日の翌日
12月28日~1月3日

■観覧料

- 一般 260(200)円
大学・高校生 130(100)円
中学生以下 無料
*()内は20人以上の団体料金
*大学・高校生は学生証をご提示ください
*障がい者手帳の提示等で観覧料免除

ホームページも
ご覧ください



新潟市北区郷土博物館 検索

■交通のご案内

- 新新バイパス(R7)
豊栄ICより車で10分
競馬場ICより車で10分
- 日本海東北自動車道
豊栄新潟東港ICより車で5分
- JR白新線
豊栄駅南口より徒歩15分



新潟市北区郷土博物館 〒950-3322 新潟市北区嘉山3452番地
TEL 025-386-1081 FAX 025-388-6290 E-mail museum.n@city.niigata.lg.jp

新潟市北区 郷土博物館

2025(令和7)年度のご案内

福島潟から北区を望む

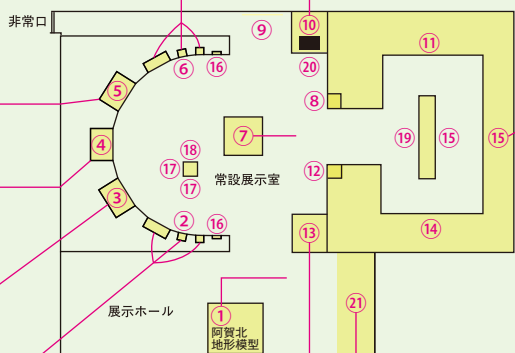


地域のおいたちや歴史・文化などを
紹介しています。

北区の魅力を再発見してみませんか!

阿賀北の大地と人々の暮らし

北区は、新潟市北地区と旧豊栄市等により構成されています。新潟市域では唯一阿賀野川右岸にあり、江戸時代には共に新発田藩や水原代官所の支配を受けてきました。また、1954(昭和29)年に北地区が新潟市と合併するまで、この地域は北蒲原郡西部郷と呼ばれ、地域的に1つのまとまりと認識されていました。半世紀以上が経ち、今また「北区」という新たな歴史を歩み始めています。



手織り伝承活動(葛塚縞手織りの会) 毎週土曜 13:30~16:00



- ① 阿賀北のおいたち
- ② 大昔の暮らし
- ③ くずし字が伝える北区
- ④ 北区の明治維新
- ⑤ 新潟県三大小作争議 木崎村小作争議
- ⑥ 越後随一の陶磁器 太丘焼
- ⑦ 暮らしを支えた舟
- ⑧ 水とのたたかい
- ⑨ 水害・治水・福島潟干拓パネル
- ⑩ 福島潟周辺の新田造りの道具
- ⑪ 農具が語る低湿地の暮らし
- ⑫ 水のみぐみ
- ⑬ 1935(昭和10)年頃の福島潟の漁労風景(模型)
- ⑭ 漁具が語る水辺の暮らし
- ⑮ 郷土の芸術家 書家 弦巻松蔭の世界
- ⑯ 北区のあらし
- ⑰ 北区のあゆみ
- ⑱ 合併のあゆみ
- ⑲ 北区のすがた(写真)
- ⑳ 映像コーナー(7番組)
- ㉑ 暮らしを支えた手織り 葛塚縞

2025(令和7)年度 企画展など事業のおしらせ



日程	事業名
2/8(土) 5/6(火・休)	蔵出し!! 北区ゆかりの文化財展 指定文化財・登録文化財は、地域の歴史・文化を伝えてくれる「みんなの宝物」です。本展では北区ゆかりの文化財を当館収蔵庫から蔵出し展示します。 北区の文化財を巡るバス見学会: 4/13(日)
5/17(土) 6/29(日)	所蔵美術作品からみる夏 —美術作品を通して夏を感じてみませんか— 「夏」をテーマに、「木々の緑」「夏休み」「水へのまなざし」が描かれている作品を選んで展示します。 小学生対象作品鑑賞会: 5/25(日)
4~8月	博物館講座 「新潟市の文化財について」: 4/29(火・祝) 「夏と美術表現(仮)」: 6/8(日) 「展示資料を読み解く-人々と戦争-(仮)」: 8/11(月・祝)
6/22(日)	弦巻松蔭 没後30年特別講演会 新潟における書の普及に尽力した弦巻松蔭の活動や芸術について、教え子で書家の佐藤奎玉氏からお話を伺います。
7/19(土) 8/31(日)	戦後80年展(仮称) 1945年の終戦から80年にあたり、出征兵士の姿や銃後の暮らしなど戦時下の人々について収蔵資料を中心に紹介します。
7~9月	手織り・ワラ細工体験 手織りで布作り体験 : 7/26(土)、8/2(土) ワラでなべしき作り体験: 8/17(日)、9/21(日)
9~12月	葛塚縞手織り技術伝承講座 かつて当地で作られた木綿織物「葛塚縞」の手織り技術を伝承する全8回の実技講座を開催します。
9/20(土) 10/13(月・祝)	第3回 新潟市北区こども作品展 新潟市北区の小学生が夏休みに取り組んだ創意と工夫に富んだ自由研究や作品を展示します。 対象: 新潟市北区の小学生 主催: 新潟市北区
10/25(土) 12/21(日)	美術を味わうレシピ展(仮称) 所蔵作品を中心に、さまざまな種類や形態の美術作品を「味わう」コツを紹介します。 作品鑑賞会: 10/26(日)、12/14(日) 講座「美術品の取り扱い(仮)」: 11/9(日) ワークショップ「からくり屏風をつくろう」: 11/24(月・休)
11/3(月・祝)	北区の郷土芸能公演 神楽・獅子舞・盆踊り・太鼓など北区の郷土芸能に触れてみませんか! 会場: 葛塚東小学校体育館
2026(令和8年) 1/10(土) 5/6(水・休)	昔の暮らし展(仮称) 当館収蔵の民俗資料(昭和の頃までに使われた道具)や写真などから、昔の人々の暮らしのようすを紹介します。

当館では、松浜・濁川・南浜地区の歴史資料や昔の暮らしを知る道具(特に塩作り・葉たばこ作り・漁業関係)がありません。寄贈いただける方はご連絡をお願いします。



* 詳細は、北区だよりやホームページ等でお知らせします。
* 臨時休館、イベントの中止、事業内容が変更になる場合があります。ホームページや電話でご確認ください。